

先進地視察研修に行きました

令和6年8月6日～8日

山口県外海栽培

漁業センターへ

本町もアカアマダイの稚魚を購入しているこの栽培センターでは、山口県栽培漁業公社の津田氏、山口県水産担当の玖村氏から説明を受けました。生態系を崩さず、いかに効果を得るかを日々研究している。本町に適していると思われるのは、太平洋側なのでハタ類のクエ、キジハタなどではないか。クエは生態系を壊す懸念がある、など有意義なお話が聴けました。



アワビ稚貝の養殖状況



邑南町役場

島根県邑南町役場にて

脱炭素の取り組み

年々上がる電気代、物価高騰、かさむ生活費。邑南（おおなん）町では年間6〜7億円が電気代として町外消費として流出している。エネルギーを消費する仕組みを見直そう！というのが取り組みの始まり。脱炭素は目的ではなく、町が生き残るための手段として取り組んでいる、との説明がありました。本町も推進する脱炭素化に向けて、今回の研修で得たことを執行部に提言していきます。

邑南町の具体的な取り組み

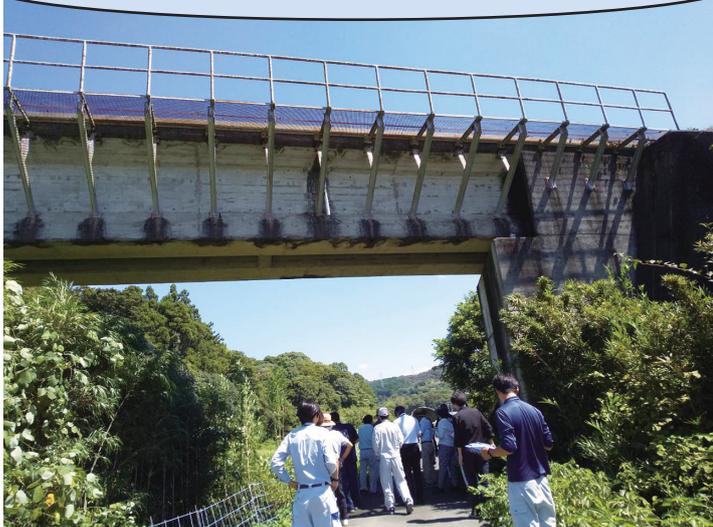
- ①電気代の削減→電力自家消費（PPA）
建物そのものに発電設備を設置し、自家消費による供給を行う。
- ②エネルギーの地産地消→町内で発電される電気を自ら使う。
電気料金が、町内を環流し、経済を支える（お金の町外流出を防ぐ）
- ③地元消費→地域新電力会社設立。電線から電気を小売供給する。



県への要望箇所現地視察へ

令和6年7月31日

毎年、町内各地区から提出された要望をもとに役場担当職員と産業建設厚生常任委員会が、県幡多土木事務所と現地視察を行っています。



河川浚渫を要望（浮鞆地区 写真左）、災害復旧要望箇所のひとつ（藤縄地区 写真右上）、県道大方大正線の土砂止め工事を要望（蜷川地区 写真右下）

